

令和8年度（2026年度）  
事業計画書

1. 申請者の概要

団体名	豊中商工会議所
代表者職・氏名	会頭 吉村 直樹
所在地	〒561-0884 大阪府豊中市岡町北1丁目1番2号
担当者職・氏名	中小企業相談所長 林 正義
連絡先電話番号	06-6845-8004
連絡先メールアドレス	<a href="mailto:shien@ooaana.or.jp">shien@ooaana.or.jp</a>

事業名		豊中での起業の裾野拡大事業	事業番号	1
事業の概要	事業概要	個人事業主として創業予定の方や小規模事業者身近な内容を題材とした、実務で役立つ、即効性のある実践的な考え方・技術等を身に付け、当該創業者にとって円滑な創業や安定した経営を目指すことの支援を行う事業。		
	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	近畿経済産業局の「創業支援等事業計画に基づく創業支援事業による支援実績<令和5年度>」によれば、豊中市は大阪市に次いで、大阪府内で2番目に多い創業者数となっており、豊中近辺の方々が創業に関してご興味をお持ちだということが読み取れる。一方で、「創業支援等事業計画に基づく創業支援事業による支援実績<令和6年度>」によれば、豊中市の創業者数は大阪府内で5番目となっており、減少傾向である。そこで、本事業では、豊中市の創業者数を増加させるため、これまで当所がリーチできていなかった学生や副業から本業へのステップアップを考えているサラリーマン層にもアプローチを行うとともに、創業関連のセミナーを開催し、創業者の方々が今後直面する諸課題に対処できる本質的な力を身につけられる事業にするとともに、当該創業者の持続的発展・経営力向上に寄与することを目的とする。必要に応じて、豊中市やとよなか起業・チャレンジセンターとも協力・連携をしながら、市域をあげて支援機関総出で支援を行うとともに、特定創業支援等事業とも連携しながら事業を行っていくことで、豊中市が「創業しやすいまち」であることのアピールを行うきっかけとし、創業者の総数の増加を目指していく。		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	豊中市やその周辺の北摂地域、大阪市内で創業を目指される方のうち、特に、小規模の個人事業主として開業予定の方や小規模の個人事業主(複業者含む)の方など、103者程度を対象とする。		
これまでの取組状況 ※地域活性化事業からの振り替えで実施する事業の場合に記載すること。	(参考1) 当事業では、令和7年度みらい共創プレイヤーズの研修課題において、大阪産業局の方々とともに企画・成果発表した内容も取り入れている。 (参考2) 今回の申請事業に向けたマーケティングを兼ねた企画として、令和7年12月16日(火)に創業セミナーを大阪府の補助事業ではなく、豊中商工会議所の独自事業(有料)として開催し、17名の方に参加いただいた実績がある。			
具体的な実施内容 ※いつ・どこで・何を・どのようにするのかを時系列順に明確に記載すること。 ※成果指標の実現に向けた取組が分かるように記載すること。	<p>①「起業が気になる学生のための交流café」(仮称) 【実施内容】創業について多少なりとも興味のある学生に向けて、豊中市や豊中商工会議所の各種支援策について紹介する。また、「創業」をテーマに交流要素のあるワークを設け、創業に興味がある学生にとって、主体的に創業・経営に関して学ぶ機会を創出することを目的とし、今後、豊中市や豊中商工会議所の各種支援策を利用いただくことを目指す。 実際に、創業に興味を持った学生には、④の創業塾にも別枠で参加できるようにする。 【実施時期】計1回、6月～9月に開催予定。15者を対象とする。 【実施場所】近隣学校で開催予定。 【実施方法】対面 【事業手法】マッチング・交流型支援</p> <p>②「創業塾プレセミナー～複業から創業へ～」(仮称) 【実施内容】副業に興味を持っているサラリーマンや現在複業を行っている方を対象に、複業創業に興味を持っていただけるような内容とする。副業を含めた複業の考え方・手法について紹介し、ワーク等を通して、「複業から創業へ」という実践的なステップを体験的に学ぶことで、複業創業へと選択肢を広げられることを目的とする。 実際に、創業に興味を持った参加者には、④の創業塾にも別枠で参加できるようにする。 【実施時期】計1回、6月～7月に開催予定。10者を対象とする。 【実施場所】豊中商工会議所で開催予定。 【実施方法】対面 【事業手法】マッチング・交流型支援</p> <p>③「起業が気になる方のための交流café」(仮称) 【実施内容】創業に興味のある方を対象に、創業に必要な内容についてのミニセミナーを行い、その後は講師を交えた受講者同士の交流会・ワークショップを行う。この交流会・ワークショップを通して起業に対する不安や悩みを仲間と共有し、経営者としてのイメージを膨らませることで、円滑に創業に向けてステップアップしていけることを目的とする。創業に向けた次のステップを考えている参加者には、④の創業塾にも別枠で参加できるようにする。 【実施時期】計1回、8月～11月に開催予定。15者を対象とする。 【実施場所】豊中商工会議所で開催予定。 【実施方法】対面 【事業手法】マッチング・交流型支援</p> <p>④「第1回 豊中創業塾」(仮称) 【実施内容】主に、学生・副業から本業へのステップアップを考えているサラリーマンなどを対象に、創業時に必要となる必要最小限の知識に絞った内容とする。実際に数多くの小規模事業者を支援してきた、中小企業診断士や税理士、豊中出身の実業家などを講師に招き、創業時に理解しておくべきビジネスモデルの考え方等の内容をお話いただく。また、受講者との交流の中で、創業に関する悩みや不安を抽出し、それらの解決策を考えていくことで、円滑な創業を目指す。合わせて、特定創業支援等事業とも連携しながら、進めていく。 講義で扱う特定創業支援等事業のテキスト、及び、創業計画書は豊中商工会議所オリジナルのものを作成・使用し、受講者にとって理解しやすい内容を目指すとともに、他団体との差別化を行っていく。</p> <p>※上記特定創業支援等事業のテキストについては、豊中商工会議所で現在特定創業支援等事業に対応している登録専門家の中小企業診断士が行う勉強会で協議を行った内容をもとに作成する予定である。</p>			

具体的な実施内容 ※いつ・どこで・何を・どのようにするのかを時系列順に明確に記載すること。 ※成果指標の実現に向けた取組が分かるように記載すること。		<予定内容> ・1日目: 経営戦略について ・2日目: マーケティングについて ・3日目: 財務会計について ・4日目: 資金調達・人材育成について ・5日目: 事業計画意見交換会・発表会(グループディスカッション) 【実施時期】計5回、9月~12月頃に開催予定。30者を対象とする。 【実施場所】豊中商工会議所で開催予定。 【実施方法】対面 【事業手法】マッチング・交流型支援 ⑤「創業者・創業予定者フォローアップ交流会」(仮称) 【実施内容】当事業の①~④に参加した方などを対象に交流会を行うことで、創業期に不足している人的・技術的リソースを受講者同士で補い合う機会を創出し、地域に必要なネットワークづくりを構築することを目的とする。創業者(複業者含む)・創業予定者同士の交流により、起業家同士が同期意識をもって支え合える関係性を築くことで、経営意識を向上させ、事業の持続性を高めることを目指していく。 【実施時期】計1回、12月~1月頃に開催予定。15者を対象とする。 【実施場所】豊中商工会議所で開催予定。 【実施方法】対面 【事業手法】マッチング・交流型支援 ①記帳支援 【実施時期】④「第1回 豊中創業塾」(仮称)の開催後に実施予定。2者を対象とする。 ②販路開拓支援 【実施時期】④「第1回 豊中創業塾」(仮称)の開催後に実施予定。6者を対象とする。 ③事業計画作成支援 【実施時期】④「第1回 豊中創業塾」(仮称)の開催後に実施予定。10者を対象とする。									
		事業分野		スモールビジネス支援							
主な事業の目標	総支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒	【設定根拠】①マッチング・交流型支援15者。②マッチング・交流型支援10者。③マッチング・交流型支援15者。④マッチング・交流型支援30者。⑤マッチング・交流型支援15者。①記帳支援2者。②販路開拓支援6者。③事業計画作成支援10者。 【募集方法】会報などによる当所会員事業所への告知のほか、メールマガジンやインスタグラムへの投稿、ホームページでの広報による周知を行う。						103	者	
	成果指標	代表指標	創業者数					数値目標	15	者	
	その他目標値	目標値の内容⇒	社								
事業の運営経費 算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)		積算単価		支援企業数		係数		補助対象事業費			
	①	40,400	円 ×	15	者 ×	1.00	=	606,000	円		
	②	40,400	円 ×	10	者 ×	1.00	=	404,000	円		
	③	40,400	円 ×	15	者 ×	1.00	=	606,000	円		
	④	40,400	円 ×	30	者 ×	1.50	=	1,818,000	円		
	⑤	40,400	円 ×	15	者 ×	1.00	=	606,000	円		
			計	85	者	(小計)		4,040,000			
個別支援に要する経費 算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)		積算単価		支援企業数		係数		補助対象事業費			
	①	25,000	円 ×	2	者 ×	1.00	=	50,000	円		
	②	20,000	円 ×	6	者 ×	1.00	=	120,000	円		
	③	50,000	円 ×	10	者 ×	1.00	=	500,000	円		
			計	18	者	(小計)		670,000	円		
補助対象事業費 計									計	4,710,000	円
算出額	受益者負担				円	受益者負担額の積算					
	補助対象事業費	補助率			(受益者負担)						
		4,710,000	円 ×	1.00	=	4,710,000	円	(円)			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはリンクで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額		支援企業数	役割 (配分の考え方)					
	○	豊中商工会議所	4,710,000 円		103						

別紙：積算根拠となる支援対象企業数と支援対象企業の変化について

事業の目標①	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒ 15 者	【設定根拠】豊中市内の20歳～24歳人口19,113者(令和7年11月1日時点)に大学進学率59.1%(令和6年度)を掛けたものの約0.15%、15者の参加を想定している。 【募集方法】近隣大学の広報担当者への周知依頼、メールマガジンやInstagram、ホームページ等での広報による周知を行う。			
	支援対象企業の変化	指標	アンケートにおいて、セミナーを受講したことで、創業に興味を持ったと回答した者数の割合	数値目標	70	%
	その他目標値	目標値の内容⇒				
事業の目標②	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒ 10 者	【設定根拠】豊中市における令和6年度の創業者数209者をもとに、約5%の参加を想定して設定。 【募集方法】会報などによる当所会員事業所への告知のほか、メールマガジンやInstagramへの投稿、ホームページでの広報による周知を行う。			
	支援対象企業の変化	指標	創業に興味を持ったかをアンケートにより把握し、今後創業を検討すると回答した者数の割合	数値目標	70	%
	その他目標値	目標値の内容⇒				
事業の目標③	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒ 15 者	【設定根拠】豊中市における令和6年度の創業者数209者をもとに、約7.5%の参加を想定して設定。 【募集方法】会報などによる当所会員事業所への告知のほか、メールマガジンやInstagramへの投稿、ホームページでの広報による周知を行う。			
	支援対象企業の変化	指標	アンケートにおいて、セミナーを受講したことで、創業に向けた次へのステップに進みたいと回答した者数の割合	数値目標	80	%
	その他目標値	目標値の内容⇒				
事業の目標④	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒ 30 者	【設定根拠】豊中市や豊中市近隣の箕面市・池田市・大阪市における令和6年度の創業者数646者をもとに、約5.0%の参加を想定して設定。 【募集方法】会報などによる当所会員事業所への告知のほか、メールマガジンやInstagramへの投稿、ホームページでの広報による周知を行う。			
	支援対象企業の変化	指標	豊中市の定める特定創業支援等事業を修了した受講者の割合	数値目標	50	%
	その他目標値	目標値の内容⇒				
事業の目標⑤	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒ 15 者	【設定根拠】当事業の①～④に参加した70者の内、約20%の参加を想定して設定。 【募集方法】当事業の①～④の後に、講義で取り扱った創業に関する知識をもとに、創業計画書作成等への取組み意欲の高い15者程度を募る。			
	支援対象企業の変化	指標	当事業の①～④で学んだことを自社の取組みとして実践した創業者(複業者含む)・創業予定者の割合	数値目標	80	%
	その他目標値	目標値の内容⇒				

【備考】

--

※別添で補足する内容があれば添付してください。